

トカラ列島・諏訪之瀬島，9月の昆虫類

福田晴夫*・江平憲治*

Insects of Suwanose-jima, Toshima-mura, Kagoshima Prefecture,
surveyed in September, 1991

Haruo Fukuda and Kenji Ehira

筆者らは1991年9月29日～30日の2日間、トカラ列島の諏訪之瀬島において昆虫類の調査を行ったのでここに報告する。これは中之島（1988年）、口之島（1989年）、平島（1990年）に続く調査であり、トカラ列島の昆虫相の調査と資料収集を目的としている。今回は天候不良であったが、トンボ類ではアジアイトトンボがきわめて多数生息していたこと、チョウ類ではタイワンクロボシジミがトカラ列島の中で中之島について採集されたことなどの成果を得ることができた。

なお、今回の調査に際して、多大なご協力をくださった十島村当局及び諏訪之瀬島小・中学校の新建一先生に改めて感謝の意を表する。

1. 日程及び調査地の環境

9月29日（曇）

午前10：00 石切港に下船

午前11：00～午後5：30 調査

海岸付近にはハマゴウ、ゲンバイヒルガオなどがあり、砂浜は石切港付近にいくらか見られるが、元浦港は断崖になっている。集落は本島南端部のみにあり、集落周辺はサツマイモや野菜類のわずかな畑地や牧場で、水田はまったくない。特記すべき環境としては、ヤマハのホテル（ロッジ風で現在は使用されていない）敷地内の芝生がある。これはかなりの面積を占め、草刈りにより維持されて、バッタ類などの草原性の昆虫類の生息地となっている。山麓部は牧場で草地が多く、丈の低いリュウキュウチク群落などによって占められている。谷すじには樹林が残っているが、路上は乾燥し、火山レキが多かった。

午後6：00～11：00 宿泊所の前にて灯火採集

集落内には、畑のほかアコウ、ガジュマル、タブノキなどの高木の防風林があり、宿泊所の前で灯火採集を行った。

9月30日（雨のち曇一時雨）

午前9：00～12：00 調査

時々、小雨の降るなか集落付近で採集を行った。ホテルの敷地内に樹林に囲まれた人工のため池（6×6 m位）があり、トンボの生息地として期待したが、水草はなく、水は茶色に濁っており種類は少なかった。

午後1：00 石切港より乗船

2. 調査結果

種名の配列は、チョウ類以外は平嶋義宏(1989)日本産昆虫総目録によった。

採集者のH. F., K. Eはそれぞれ福田晴夫, 江平憲治を示す。

チョウ目 (チョウ類) LEPIDOPTERA

セセリチョウ科 Hesperidae

イチモンジセセリ *Parnara guttata guttata* Bremer et Grey

(1♂1♀, IX-29, H. F) 個体数は少ない。他のセセリチョウは全く見かけず。

アゲハチョウ科 Papilionidae

アオスジアゲハ *Graphium sarpedon* Linnaeus

(1頭死体, IX-29, H. F) 他に少数目撃。食樹と思われるタブノキは多い。

ナミアゲハ *Papilio xuthus* Linnaeus

(少数目撃, IX-29; 1♀, IX-30, H. F) ハイビスカスに訪花。あまり多くない。

モンキアゲハ *Papilio helenus* Linnaeus

(普通に目撃, IX-29; 1♂1♀, IX-30, H. F) アゲハチョウ科では最も多い。

ナガサキアゲハ *Papilio memnon* Linnaeus

(1♂目撃, IX-29, H. F) 1♂を目撃したのみ。ミカン類はあまり栽培されていないらしく、1本も気づかなかった。

シロチョウ科 Pieridae

キチョウ *Eurema hecabe* Linnaeus

(1♀秋型, IX-29, H. F) 他に全く見かけず。ヒロハネムが食草か? 他のシロチョウ類は発見できなかった。なお人家に2本のナンバンサイカチが植えてあったが、ウスキシロチョウは来ていなかった。

シジミチョウ科 Lycaenidae

ヤマトシジミ *Zizeeria maha okinawana* Matsumura

(2♂, IX-29; 1♂1♀, IX-30, H. F) カタバミ群落に普通に見られた。

タイワンクロボシシジミ *Megisba malaya sikkima* Moore

(1♂1♀, IX-30, H. F) 宿の庭と近くの路上で採集。他に目撃個体はなかった。食樹と思われるアカメガシワは、数本調べたが、すでに花はなく卵や幼虫は見つからなかった。採集個体はこの島で羽化したものと推定される。なお、本種は南西諸島を北上しつつあるといわれるもので、現在の定着の北限は、奄美大島(1975年初記録)と思われる。トカラ列島では中之島で1985年8月24日1♀が採集されており、今回の記録は中之島より南ではあるが、トカラ列島への侵入土着の可能性を強く示唆している。

マダラチョウ科 Danaidae

リュウキュウアサギマダラ *Radena similis similis* Linnaeus

(1♀, IX-30, H. F) 他に見ず。食草として知られるツルモウリンカ(ケナシツルモウリンカ)は、集落付近でよく目についたが、卵、幼虫などは発見できなかった。

タテハチョウ科 **Nymphalidae**

アカタテハ *Vanessa indica* Herbst

(1♀, IX-29, H. F) 少ない。カラムシを食草としているらしい。

ルリタテハ *Kaniska canace* Linnaeus

(1♀, IX-29, H. F) 他に少数目撃。

タテハモドキ *Precis almana* Linnaeus

(1♀, IX-29, H. F) 夏型を少数見かけた。イワダレソウ(食草?)は多い。

リュウキュウムラサキ *Hypolimnas bolina* Linnaeus

(1♂, IX-29; 1♀, IX-30, H. F), (1♂, IX-30, K. E) ♂♀いずれも赤斑型。1♂は水無川の樹林下の陰地に止まっており、他の1♂はヤマハホテル内の樹林内に止まっていた。♀は人家のサツマイモ畑を産卵するかのように飛んでいた。採集後、産卵したが、孵化せず、解剖により未交尾個体と判明した。

ジャノメチョウ科 **Satyridae**

ウスイロコノマチョウ *Melanitis leda* Linnaeus

(1頭目撃, IX-29, H. F) 夕方に少数見たのみ。

チョウ目 (ガ類) **LEPIDOPTERA**

採集品はすべて9月29日の灯火採集によるものである。

ヒロハマキモドキガ科 **Brachodidae**

ニシキヒロハマキモドキ *Nigilgia limata* Diakonoff et Arita (1頭)

メイガ科 **Pyralidae**

マエアスカシノメイガ *Palpita nigropunctalis* Bremer (1頭)

カイコガ科 **Bombycidae**

クワコ *Bombyx mandarina* Moore (1頭)

スズメガ科 **Sphingidae**

エビガラスズメ *Agrius convolvuli* Linnaeus (1頭)

シモフリスズメ *Psilogramma increta* Walker (1頭)

ホシホウジャク *Macroglossum pyrrhosticta* Butler (1頭)

ヒトリガ科 **Arctiidae**

クワゴマダラヒトリ *Spilosoma imparilis* Butler (1頭)

ヒトリモドキガ科 **Hypsiidae**

キイロヒトリモドキ *Asota egens confinis* Rothschild (1頭)

ヤガ科 **Noctuidae**

オオタバコガ *Helicoverpa armigera* Hubner (2頭)

タマナヤガ *Agrotis ipsilon* Hufnagel (2頭)

アワヨトウ *Pseudaletia separata* Walker (4頭)

- ハスモンヨトウ *Spodoptera litura* Fabricius (7頭)
 アカマエアオリンガ *Earias pudicana* Staudinger (3頭)
 ミツモンキンウワバ *Acanthoplusia agnata* Staudinger (6頭)
 エゾギクキンウワバ *Ctenoplusia albostriata* Bremer et Grey (1頭)
 クロスジユミモンクチバ *Melapia japonica* Ogata (1頭)
 アシプトクチバ *Parallelia stuposa* Fabricius (1頭)
 ナカジロシタバ *Aedia leucomelas* Linnaeus (1頭)
 オオルリオビクチバ *Ischyja manlia* Gramer (1頭)
 サザナミクチバ *Polydesma boarmoidae* Guenee (1頭)

アミメカゲロウ目 NEUROPTERA

クサカゲロウ科 Chrysopidae

- ヨツボシクサカゲロウ *Chrysopa septempunctata* Wesmael
 (1頭, IX-29, H. F), (2頭, IX-29, K. E)

ウスバカゲロウ科 Myrmeleontidae

- コウスバカゲロウ *Myrmeleon formicarius* Linnaeus
 (1頭, IX-29, K. E)

トンボ目 ODNATA

イトトンボ科 Agrionidae

- アジアイトトンボ *Ischnura asiatica* Brauer
 (19♂13♀, IX-29; 4♂, IX-30, H. F), (13♂10♀, IX-29; 1♂, IX-30, K. E)

南西諸島には少ないとされる本種が、無数といえるほど多数生息していた。海岸近くのゲンバイヒルガオ周辺、畑の草地、牧場や荒地の草地などの日当りの良いところに多かった。スウィーピング法による調査結果(口径40cmの捕虫網で10回スウィープする)によると、(1)御岳登山口の草地では1回目10頭、2回目8頭、(2)石切港海岸近くのゲンバイヒルガオの所で12頭(5♂7♀)、(3)ホテルの芝生内では1回目0頭、2回目2頭であった。この結果からわかるように、池沼などの水辺とはまったく無関係で、開けた明るい草地(ただし草丈の低い芝生では少ない)や、海岸付近の草地に多かった。島内には大きな池や湿地はなく、あるといえば、ホテルの敷地内にある古い小さな人工池ぐらいである。とてもこれだけの個体数の発生源とは考えられない。羽化殻は発見できず、羽化したばかりの未熟な個体も見られなかった。見られるのは成熟成虫のみで、明るい草むらのなかでの摂食行動、なわばり行動が主で、交尾行動は観察されなかった。島内に発生源がないとするならば、島外で大量発生し、飛来してきたとも推測される。今後の年次的な変化を追う必要がある。

- アオモンイトトンボ *Ischnura senegalensis* Rambur
 (2♂1♀, IX-30, H. F), (3♂, IX-30, K. E)

ヤマハのホテル内の薄暗い小さな溝川，ホテル内の古い小さな人工池のみで採集。アジアイトトンボと異なり水辺付近から離れず生息していた。個体数も少ない。

ヤンマ科 **Aeschnidae**

ギンヤンマ *Anax parthenope julius* Brauer

(1♂, IX-29, H. F), (1♀, IX-29, 立久井昭雄)

トンボ科 **Libellulidae**

シオカラトンボ *Orthetrum albistylum speciosum* (Uhler)

(1頭目撃, IX-30, H. F, K. E) ホテル内の古い小さな人工池で1頭目撃したのみ。

ウスバキトンボ *Pantala flavescens* Fabricius

(2♀, IX-29, H. F), (1♀, IX-29, K. E)

ハネビロトンボ *Tramea virginia* Rambur

(1頭目撃, IX-29, H. F) 荒れ地の樹上をウスバキトンボに混じって飛んでいた。

ゴキブリ目 **BLATTARIA**

チャバネゴキブリ科 **Blattellidae**

ヒメチャバネゴキブリ *Blattella lituricollis* Waiker

(2頭, IX-29, H. F)

カマキリ目 **MANTODEA**

カマキリ科 **Mantidae**

チョウセンカマキリ *Tenodera angustipennis* Saussure

(1頭, IX-29, K. E)

バッタ目 **ORTHOPTERA**

コオロギ科 **Gryllidae**

タイワンエンマコオロギ *Teleogryllus taiwanemma* Ohmachi et Matsuura

(1♀, IX-29; 1♂, IX-30, H. F), (4♀, IX-29, K. E)

オンブバッタ科 **Pyrgomorphidae**

オンブバッタ *Atractomorpha lata* Motschulsky

(6♂5♀, IX-29, H. F), (1♂2♀, IX-29, K. E)

アカハネオンブバッタ *Atractomorpha psittacina* de Haan

(2♂, IX-29, H. F), (1♂1♀, IX-29, K. E)

バッタ科 **Acrididae**

ショウリョウバッタ *Acrida cinerera* Thunberg

(2頭, IX-29, H. F), (1頭, IX-29, K. E)

マダラバッタ *Aiolopus tamulus* Fabricius

(12頭, IX-29; 4頭, IX-30, H. F), (6頭, IX-29, K. E)

ショウリョウバッタモドキ *Gonista bicolor* de Haan

(2頭, IX-29, K. E)

トノサマバッタ *Locusta migratoria* Linnaeus

(1頭, IX-29, H. F), (1頭, IX-29, K. E)

ヒシバッタ科 **Tetrigidae**

ヒシバッタ *Tetrix japonica* Bolivar

(1頭, IX-29, H. F), (1頭, IX-29, K. E)

畑田 (1991) によると, 諏訪之瀬島のオンブバッタ科, イナゴ科, バッタ科の記録はなく, 表にまとめると次のようになる。

表1 鹿児島県におけるオンブバッタ科, イナゴ科, バッタ科の分布

*畑田健治 (1991) 鹿児島県立博物館研究報告 (10): 24-29の表1に加筆

●これまでの調査及び標本による確認 ▲文献による確認 ○今回の調査による確認

種名	地域名	県本	三島村種			屋久島	トカラ列島							奄美諸島					
			黒島	硫黄島	竹島		種子島	口之島	中之島	臥蛇島	平島	諏訪之瀬島	悪石島	小宝島	宝島	奄美大島	喜界島	徳之島	沖永良部島
オンブバッタ科	オンブバッタ	●			●	▲	●	●		●	○			▲					
	アカハネオンブバッタ							●		●	○			●		●	●		
イナゴ科	ハネナガイナゴ	●	●	●		●	▲							▲					
	台湾ハネナガイナゴ							●	●		●			●	●				
	コバネイナゴ	●				▲	▲							▲	▲				
	台湾コバネイナゴ														●			●	
	オキナワイナゴモドキ					●		●							●				
バタ科	ショウリョウバッタ	●	●	●		●	▲		●		●	○		●		●		●	●
	ショウリョウバッタモドキ	●				●							○	●		●			▲
	トノサマバッタ	●	●	●		●				●	○	●							●
	クルマバッタ	●																	
	イボバッタ	●		●															
	アカアシバッタ														▲		▲		●
	マダラバッタ	●	●	●		●	▲		●		●	○	●	●	●				●
	ツマグロイナゴモドキ	●																	
	ナキイナゴ	●																	
	ヒナバッタ	●					▲												
ヒロバネヒナバッタ	●																		
ヤマトマダラバッタ	●																		

カメムシ目 HEMIPTERA

セミ科 Cicadidae

クロイワツクツク *Meimuna kuroiwaie* Matsumura

(1 ♀, IX-29; 3 ♂ 1 ♀, IX-30, H. F), (2 ♀, IX-29, K. E)

ツクツクボウシ *Meimura opalifera* Walker

(少数鳴き声を聞いた, IX-29, H. F)

サシガメ科 Reduviidae

クロサシガメ *Peirates cinctiventris* Horvath

(1 頭, IX-29, K. E)

ホソヘリカメムシ科 Aiydidae

クモヘリカメムシ *Leptocoris chinensis* Dallas

(2 頭, IX-29, K. E)

ヘリカメムシ科 Coreidae

ホソハリカメムシ *Cletus punctiger* Dallas

(1 頭, IX-29, H. F), (1 頭, IX-29, K. E)

ホシハラビロヘリカメムシ *Homoeocerus unipunctatus* Thunberg

(1 頭, IX-29, H. F)

カメムシ科 Pentatomidae

マルシラホシカメムシ *Eysarcoris guttiger* Thunberg

(1 頭, IX-29, H. F), (1 頭, IX-29, K. E)

チャバネアオカメムシ *Plautia crossota stali* Scott

(4 頭, IX-29, K. E)

コウチュウ目 COLEOPTERA

コガネムシ科 Scarabaeidae

ゴホンダイコクコガネ *Copris acutidens* Motschulsky

(1 ♂ 灯火採集, IX-29, K. E)

カドマルエンマコガネ *Onthophagus lenzii* Harold

(2 頭牛糞の中から採集, IX-29, H. F), (1 頭灯火採集, IX-29, K. E)

アオドウガネ *Anomala albopilosa albopilosa* Hope

(5 頭灯火採集, IX-29, K. E)

テントウムシ科 Coccinellidae

オオフタホシテントウ *Lemnia biplagiata* Swartz

(3 頭, IX-29, K. E)

ヒメカメノコテントウ *Propylea japonica* Thunberg

(2 頭, IX-29, H. F)

ハチ目 HYMENOPTERA

ツチバチ科 **Scoliidae**

ヒメハラナガツチバチ *Campsomeriella annulata annulata* Fabricius
(1♂, IX-29, H. F), (1♂ 1♀, IX-29, K. E)

アカアシハラナガツチバチ *Campsomeris mojiensis ryukyuana* Tsuneki
(1♀, IX-29, K. E)

アナバチ科 **Sphecidae**

クロアナバチ *Sphex argentatus fumosus* Kohl
(1頭, IX-29, H. F), (1頭, IX-29, K. E)

ハキリバチ科 **Megachilidae**

オオハキリバチ *Chalicodoma sculpturalis* Smith
(1頭, IX-29, H. F)

ミズアブ科 **Stratiomyidae**

アメリカミズアブ *Hermetia illucens* Linnaeus
(1頭, IX-29, K. E)

* 採集品の中に未同定の昆虫が若干残っているが、他の機会に報告することにする。